

1名分料金で
2人目無料

CO2を活用した水素酸化細菌の バイオ製品生産と社会実装に向けた課題・将来展望

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/251005>

- ◆日時：2025年10月24日(金) 13:00～15:00
- ◆【WEB限定セミナー】※会社やご自宅でご受講下さい。
- ◆受講料：1名につき38,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で38,500円(税込)から
・1名で申込の場合、**33,000円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計38,500円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：一般財団法人電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 上席研究員 博士(工学)平野 伸一 氏

【講演の趣旨】

2050年のカーボンニュートラル社会の実現を目指し、CO2を活用するカーボンリサイクル技術の開発が国内外で進められています。国内においても、カーボンリサイクル技術のひとつとしてCO2固定微生物の機能を活用するCO2を原料としたバイオものづくりが注目されています。本セミナーにおいては、CO2活用に関わる微生物の種類やそれらの特性について概説し、特に水素とCO2を原料として増殖する水素酸化細菌の特徴と、その特徴を活用したCO2からのバイオものづくりの可能性を紹介します。水素酸化細菌を使ったプロセスは将来的なポテンシャルは見込まれるものの社会実装に向けては多くの課題も存在するため、それら課題に対する現在の国内外での取り組みおよび、今後の展望についても紹介します。

【プログラム】

1. カーボンリサイクル技術としてのバイオものづくりの動向
1-1. CO2を資源として活用するカーボンリサイクル技術の位置づけと役割
1-2. カーボンリサイクル技術としてのバイオものづくりの特徴と国内外の動向
1-3. CO2を直接原料としたバイオものづくり
2. CO2固定微生物、特に水素酸化細菌を使ったバイオものづくりのポテンシャル
2-1. CO2を固定する独立栄養微生物の特徴と分類
2-2. 水素酸化細菌とは
2-3. 水素酸化細菌の特徴とそのCO2固定・排出削減ポテンシャル
2-4. 水素酸化細菌を使ったバイオものづくりの可能性
3. 海外における水素酸化細菌を使ったバイオものづくりの動向
3-1. 海外での取り組みのコンセプトと最新動向
3-2. 水素酸化細菌を使ったタンパク質生産の利点と可能性
3-3. 海外スタートアップ企業の取組事例の紹介
4. 水素酸化細菌を使ったバイオものづくりの国内での取り組み
5. 社会実装に向けた課題と将来展望
5-1. 水素酸化細菌を用いたバイオものづくりにおける技術開発課題
5-2. 社会実装に向けた技術開発以外の課題と将来展望

『水素酸化細菌【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学	
住所	〒
電話番号	FAX

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>